

授業概要

リスクマネジメントは色々な分野が対象になるが、本授業では企業経営と金融分野におけるリスクマネジメントを対象とする。企業は浮き沈みの激しい競争社会のなかでリスクにどのように対処しているか失敗、成功の事例を辿り将来起こりうるリスクにどのように対処すればよいかの基本原則について講義します。金融分野のリスクについては市場リスク（市場変動に曝されるリスク）、信用リスク（債務の償還が出来ないリスク）、流動性リスク（借り換えや手元資金が得られないリスク）などについて具体的なリスク対処手法を説明しながらその基礎がわかるように講義します。講義の理解を深めるために、毎回授業中にその日の復習として15分程度のライティング（ミニット・ペーパーと呼びます）おこないます。

授業計画

第1回	オリエンテーション授業：授業の進め方・リスクマネジメント論の全体概要
第2回	企業経営におけるリスクマネジメント：基本論理・リスクの測定方法
第3回	企業リスクマネジメントの事例（1）東京電力・スカイマーク・三洋電気・東芝
第4回	企業リスクマネジメントの事例（2）東日本大震災・中越沖地震・日本海海戦
第5回	企業リスクマネジメントの事例（3）コマツ・スカイマーク・雪印乳業
第6回	企業リスクマネジメントの事例（4）アンリ・ファヨールの理論・英国プレミア・リーグ
第7回	金融におけるリスクマネジメントの基本論理・定義・種類・歴史
第8回	リスクの定義と測定方法（確率分布）
第9回	市場リスク（1）バリュー・アット・リスク
第10回	市場リスク（2）モンテカルロ・シミュレーション・住宅ローンのリスク管理
第11回	信用リスク（1）格付けの概念・信用格付けモデルの構築と検証
第12回	信用リスク（2）格付けの実例（社債・国債・地方債）
第13回	流動性リスク：日本国債の借換えリスク・決済リスク・オペレーショナルリスク
第14回	リスクとリターンの問題：リスクとリターンの概念・期待損失・非期待損失・資本配分
第15回	全体のまとめ・質問と回答
第16回	筆記試験

到達目標

リスクマネジメントについての主要な用語や分析ツールを理解して、企業や金融分野で発生するリスクにどのように対処すれば良いかを理解できるようにする。

履修上の注意

本授業のための専用ノートを用意して講義内容を記録してください。授業で配布する資料は時系列的に自分のファイルに綴じてください。遅刻は減点になります。

予習復習

ときどき宿題を出しますので翌週の授業のときに必ず提出してください

評価方法

定期試験60%、授業内レビュー・ライティング（毎回ミニット・ペーパー作成）等40%

テキスト

毎回プリントを配布します。参考書は『事例で学ぶリスクマネジメント入門』（同文館出版）、『金融リスクマネジメント』（東洋経済新報社）、『リスクマネジメント』（ミネルヴァ書房）